

2023年12月期 第1四半期 連結業績補足資料

2023年5月12日
株式会社コーチ・エイ
(東証スタンダード 証券コード9339)

Coaching Leaders



COACH A Co., Ltd.

©2023 COACH A Co., Ltd.

本資料は、2023年12月期1Q決算における連結業績に関わる補足資料です。

2023年12月期 第1四半期 連結業績概況

©2023 COACH A Co., Ltd.

本資料では、株式会社コーチ・エィの2023年12月期 1Qの連結業績について、スクリプト形式で補足説明をしています。

当社は、決算短信の補足資料として、決算説明資料を開示しています。決算説明資料には連結業績に加え「当期の事業テーマと進捗状況」「研究発表の実績」などの内容を記載しています。併せて、そちらもご参照ください。

なお、当社は2Qと4Qに機関投資家向け決算説明会の実施を予定しており、そのアーカイブ動画は当社ホームページのIRページに掲出いたします。

Executive Summary

2023年12月期 1Qの決算概況

売上高 786百万円（前年同期比 +0.6%）

営業利益 23百万円（前年同期比▲75.7%）

2023年12月期 事業重点ポイントに対する取組み進捗

コーチ数増 採用は計画に沿って順調に進行中

海外拠点数増 米国子会社の設立を決定、ビジネス拡大に向け進捗

通期の収益計画

2Q以降の受注高増加に伴い、通期の収益計画は達成の見込み

©2023 COACH A Co., Ltd.

3

【決算概況】

- 売上高について
前年同期比0.6%増加の786百万円で、想定通りの進捗です。
昨年4Qに受注したうちの複数案件分の売上高は、当1Qではなく2Q以降に計上が開始される予定です。
なお、今期の売上高は3Qおよび4Qに偏重して計上される見通しであり、現段階では通期予想通り、3,938百万円の着地で見込んでいます。
※受注高および売上高の詳細については、P5をご参照ください。
- 営業利益について
前年同期比75.7%減少の23百万円で、想定通りの進捗です。
本年は「中長期の成長を見据えた、盤石な事業基盤づくりへの先行投資」をテーマとしており、1Qから積極的な投資を行っているため、経費が先行的に発生しています。
当1Qにおいては、特に本年の事業重点テーマの一つであるコーチ人材の採用・育成に関連した採用活動費・人件費が増加しています。
なお、2Q以降の受注高増加に伴い、現段階では通期予想通り、560百万円となる見込みです。
※営業利益の詳細については、P6をご参照ください。

【事業重点ポイントに対する取り組み進捗】

- コーチ数増について
今期はコーチ数約15%増を目指しており、1Q時点で順調に採用活動が進捗しています。
※採用状況の詳細については、決算説明資料P14をご参照ください。
- 海外拠点数増について
今期は2か所の海外拠点設立を検討しており、5月には米国子会社の設立が完了しています。
※米国子会社設立の詳細については、決算説明資料P17をご参照ください。

2023年12月期1Q_連結損益計算書

(単位：百万円)

	FY2022 1Q	FY2023 1Q		前年同期比	変動要因
			対売上高比率		
売上高	781	786	100.0%	+0.6%	受注高と売上高の詳細は5ページご参照
売上総利益	385	404	51.4%	+4.9%	—
販売費及び一般管理費	287	380	48.4%	+32.3%	<ul style="list-style-type: none"> 採用活動強化による採用費の増加 従業員数の増加 外形標準課税適用による増加、株主総会関連費用および上場維持コストの増加
営業利益	97	23	3.0%	▲75.7%	—
営業外損益	32	▲4	—	—	・主に為替差益の減少 32百万円
経常利益	130	19	2.5%	▲85.1%	—
特別損益	▲3	50	6.4%	—	<ul style="list-style-type: none"> 投資有価証券（上場株式）の売却益 59百万円 休眠中であった香港子会社の清算終了に伴う関係会社整理損 9百万円
法人税等合計	▲41	34	4.4%	—	前期 1 Qは、休眠子会社の清算決議に伴う税効果会計の適用により法人税等合計はマイナス（益サイド）
当期純利益	169	34	4.4%	▲79.3%	—

金額：百万円未満切り捨て表示
前年同期比：小数点第2位を四捨五入

©2023 COACH A Co., Ltd.

4

当1Qの連結損益計算書の対前年同期での変動要因をまとめています。
 ※受注高および売上高の詳細については、P5をご参照ください。
 ※営業利益の詳細については、P6をご参照ください。

受注高と売上高

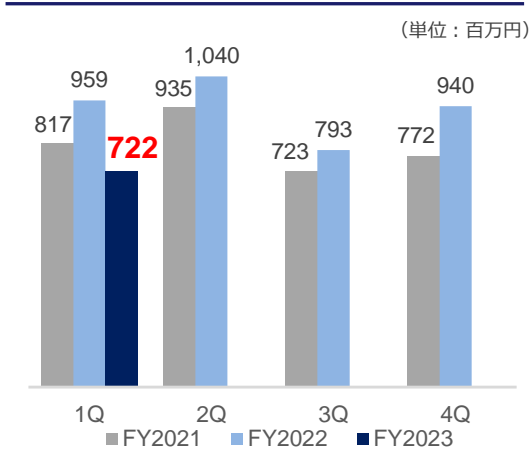
【受注高】

- ・ 1Qにおいて、景気後退懸念の影響を受け、お客様の発注意思決定に一時的な遅れが発生
- ・ 1Qから実行している戦略により、2Q以降の受注は回復の見通し
- ・ 2023年通期の受注高は、期初計画通りの3,855百万円となる見通し

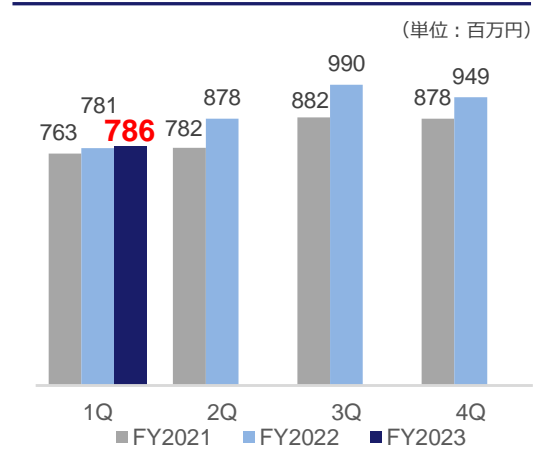
【売上高】

- ・ 1Qの売上高は想定通りであり、好調だった2022年4Qの受注済み案件は2Q以降に売上高に反映される予定
- ・ 2023年通期の売上高は期初計画通りを見込むものの、3Q・4Qに偏重する見通し

四半期毎の受注高



四半期毎の売上高注



注：当社は2021年12月期は会計監査人による四半期レビューを受けておりません。

©2023 COACH A Co., Ltd.

5

● 受注高

当1Qの受注高は722百万円です。

米国の金融不安など景気懸念の影響を受けて、お客様の発注に関わる意思決定に一時的な遅れが生じました。

当社は「中長期の成長を見据えた、盤石な事業基盤づくりへの先行投資」というテーマに沿って「顧客基盤の強化・拡大」「コーチ人材の採用と育成」「海外ビジネスの拡大」の3つの施策を推進しています（詳細は決算説明資料のP8以降をご参照ください）。これらの施策の効果が2Q以降に現れることにより、通期の受注高計画3,855百万円は達成する見通しです。

● 売上高

当1Qの売上高は786百万円で、想定通りの進捗です。

当社の売上高は、クライアントに対するサービス提供の進捗に応じて計上されるため、サービスの提供状況によって変動することがあります。昨年4Qの受注高のうち複数案件分に係る売上高は、当1Qではなく2Q以降に計上を開始される予定です。

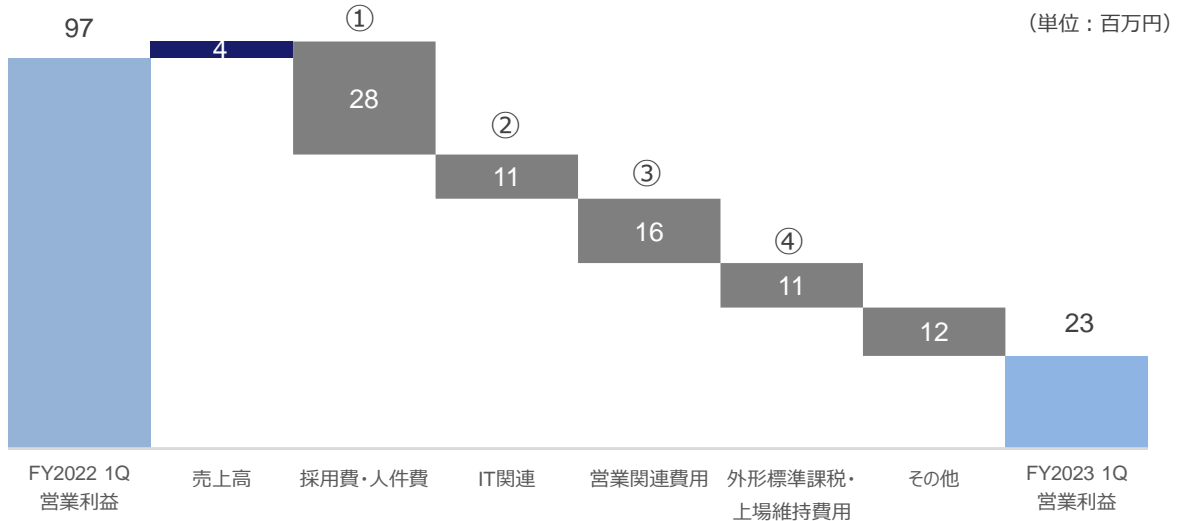
なお、今期の売上高は3Qおよび4Qに偏重して計上される見通しであり、現段階では通期予想通り、3,938百万円となる見込みです。

営業利益の変動要因分析

- 経費の増加要因は、主に成長に向けた投資（採用およびIT関連）と2Q以降の受注高・売上高増加に向けた営業活動の強化によるもの

【主な変動要因（FY2022 1Q比較）】

- ① 採用活動に伴う採用費の増加、従業員数の増加
- ② コーチング関連のIT投資・情報セキュリティ投資による増加
- ③ 受注高・売上高の拡大に向けた営業関連費用の増加
- ④ 上場に伴う外形標準課税・上場維持費用などの増加



©2023 COACH A Co., Ltd.

6

本年は「中長期の成長を見据えた、盤石な事業基盤づくりへの先行投資」をテーマとしており、主に「採用活動」「IT関連」「海外事業」への投資を進めています。当1Qの営業利益は前期1Qと比較すると、主に成長に向けた投資と2Q以降の受注高・売上高の増加に向けた営業活動の強化による経費が増加しました。

前期1Qの営業利益97百万円に対し当1Qの営業利益は23百万円であり、その変動の主な要因は下記のとおりです。

- ① 採用費と人件費の増加：28百万円
今期はコーチ数約15%増を目指して積極的な採用活動を展開しており、これに係る採用費が増加しました。2023年3月末時点での今期の入社済及び内定済み入社予定者数は16名であり、前年同期比で2倍超と順調な採用状況となっています。
また、前年同期比で従業員数が増加したことに伴い、人件費も増加しました。
- ② IT関連費用の増加：11百万円
主に、コーチングに関わるITシステム構築のための業務委託費の増加によるものです。
- ③ 営業関連費用の増加：16百万円
前期1Qは新型コロナウイルス感染対策に係る行動制限があったのに対し、当1Qにおいては、クライアントとの対面での営業活動も活発化しており、それに伴い交通費や会議費などの費用が増加しました。
- ④ 外形標準課税・上場維持費用の増加：11百万円
昨年12月の東証スタンダード市場への上場に伴って資本金が増加し、外形標準課税が適用されたことにより、税金費用が増加しました。また、株主総会や株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション活動に関わる費用が増加しました。

2023年3月末_連結貸借対照表

【2022年12月末からの主な変動要因】

- ・ 資 産 - 賞与の支給・税金納付による現金及び預金の減少（266百万円）
- ・ 負 債 - 賞与の支給等による賞与引当金の減少（226百万円）
- 税金納付による未払法人税等の減少（115百万円）
- ・ 純資産 - オーバーアロットメント分の第三者割当増資による資本金・資本準備金の増加（各92百万円）

（単位：百万円）

	2022年12月末	2023年3月末		2022年12月末	2023年3月末
流動資産合計	3,467	3,224	負債合計	1,526	1,054
固定資産合計	932	807	流動負債	1,496	1,024
有形固定資産	75	71	固定負債	29	30
無形固定資産	362	364	純資産合計	2,873	2,977
投資その他の資産	495	370	株主資本合計	2,701	2,877
資産合計	4,399	4,032	その他の包括利益 累計額合計	172	100
			負債純資産合計	4,399	4,032

金額：百万円未満切り捨て表示

©2023 COACH A Co., Ltd.

7

● 資産合計

2022年12月末比で、367百万円減少しました。

主に、賞与の支給や税金納付をしたことにより、現金及び預金が266百万円減少しました。また、保有株式の一部売却などにより、投資その他の資産が減少しました。

● 負債合計

2022年12月末比で、472百万円減少しました。

主に、賞与の支給に伴い、賞与引当金が226百万円減少しました。また、税金納付による未払法人税等が115百万円減少しました。

● 純資産合計

2022年12月末比で、104百万円増加しました。

主に、東証への上場に伴い、1月にオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資を行いました。これにより資本金および資本準備金がそれぞれ92百万円増加しています。

以 上

免責事項

- 将来見通しに関する注意事項
 - 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、別段の記載がない限り本資料の発表日現在における当社が入手可能な情報並びに当社の計画及び見込みに基づいた当社の想定、将来の見通し及び推測が含まれますが、これらが達成される保証はありません。経済状況の変化、個人ユーザーの嗜好及び企業クライアントのニーズの変化、他社との競合、法規制の変化環境、為替レートの変動その他の様々な要因により、将来の予測・見通しに関する記述は実際の業績と大幅に異なる場合があります。したがって、将来見通しに関する記述に過度に依拠することのないようお願いします。当社は、適用ある法令又は証券取引所の規則により要求される場合を除き、本資料に含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新又は改訂する義務を負うものではありません。
- 外部資料に関する注意事項
 - 本資料には、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計その他の情報に基づいており、それらの情報については当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。
- 本資料の利用に関する注意事項
 - 本資料は、一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されたものです。本資料及びその記載内容について、第三者が、当社の書面による事前の同意なしに、その他の目的で公開し又は利用することはできません。当社は、本資料に含まれる情報の正確性又は完全性について表明するものではなく、本資料の使用から生じるいかなる損失又は損害についても責任を負いません。
- 本資料は、金融商品取引法又はその他の法令若しくは諸規則に基づく開示書類ではありません。投資のご検討にあたっては、必ず当社が作成する「新株発行並びに株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「新株発行並びに株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。

IRのお問合せ先

IRに関するお問い合わせは、以下のお問い合わせフォームよりお願いいたします

<https://ir.coacha.com/inquiry>